

地球環境を守る かごしま県民運動 推進大会

私たちの日常生活や事業活動において、電気や燃料の消費、自動車の使用、ごみの排出など、身近なところから地球環境の保全のための実践活動に取り組み、かけがえのない地球環境を守り育て、次の世代に引き継いでいきましょう。

- と き 令和5年7月14日(金) 14:00~16:30
- ところ 鹿児島県市町村自治会館4階ホール
(鹿児島市鴨池新町7番4号)

地球環境を守るかごしま県民運動推進会議

構成団体

県衛生自治団体連合会、県漁業協同組合連合会、県子ども会育成連絡協議会、(一社)県商工会議所連合会、県商工会連合会、県森林組合連合会、県生活衛生同業組合連合協議会、県石油商業組合、県地域女性団体連絡協議会、県農業協同組合中央会、鹿児島都市ガス協議会、(株)山形屋、九州電力(株)鹿児島支店、(一財)県環境技術協会、(公財)県老人クラブ連合会、(福)県社会福祉協議会、(一社)県銀行協会、(一社)県建設業協会、(公社)県工業倶楽部、(一社)県自動車整備振興会、(公社)県トラック協会、(公社)日本青年会議所九州地区鹿児島ブロック協議会、県市長会、県町村会、県議会、県教育委員会、鹿児島県 他 合計160団体

事務局連絡先

鹿児島県環境林務課地球温暖化対策室 (鹿児島市鴨池新町10-1 TEL: 099-286-2586)
鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター (鹿児島市七ツ島1-1-5 TEL: 099-284-6013)

プログラム

- 開 会 …………… 14 : 00
- 会長（知事）あいさつ …………… 14 : 00~14 : 05
- 燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会
CO₂オフセット取組宣言 …………… 14 : 05~14 : 10
- 環境保全活動優秀団体等表彰 …… 14 : 10~14 : 25
 - ・ 株式会社 栄電社
 - ・ 鹿児島県立農業大学校 農学部野菜科 バイオ研究会
 - ・ 株式会社 グリーンテック
 - ・ 夢蛸たぶがわ2016 ※五十音順
- 活動事例発表 …………… 14 : 25~14 : 35
 - ・ 環境保全活動優秀団体表彰受賞者
- 県地球温暖化対策実行計画等について14 : 35~14 : 50
 - ・ 鹿児島県地球温暖化対策室
- 講 演 …………… 15 : 00~16 : 30
演 題
身近にできる脱炭素の取組について
講 師
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 前専務理事
秋元 智子 氏
- 閉 会 …………… 16 : 30

令和5年度環境保全活動優秀団体等表彰受賞者

※五十音順

株式会社 栄電社（鹿児島市）

活動年数：約7年

同会社は、従業員73名で構成。

ビタミンE、ポリフェノール、アミノ酸、食物繊維など“有用な成分”が豊富に含まれている焼酎粕を飼料や肥料とする技術開発を行い、製品化し焼酎粕の有効活用を図っている。

また、畜産廃棄物を活用した小型バイオマス発電にも取り組んでいる。

鹿児島県立農業大学校 農学部野菜科 バイオ研究会（日置市） 活動年数：約4年

同研究会は、学生14名で構成。

外来魚・藻・ホテイアオイなど地域に眠る未利用資源を有効活用するため、発酵させて液肥を製造しており、製造した液肥は野菜科のカリキュラムにも利用されている。

株式会社 グリーンテック（奄美市）

活動年数：約10年

同会社は、従業員35名で構成。

「ふるさとの道サポーター」として、指定された場所の美化活動のみならず、他の場所での美化活動も積極的に実施している。

また、公共工事の各現場周辺において、奄美大島で問題となっている外来植物の駆除ボランティア活動を実施しているほか、自主的に特定外来植物のモニタリング調査及び駆除も実施している。

夢蛭たぶがわ2016（枕崎市）

活動年数：約7年

同団体は正会員11名、準会員45名で構成。

河川護岸や用水路のコンクリート化で壊れかけた生態系を復活させるため、用水路を改修し、耕作放棄地に水生生物が生息するビオトープを創設している。

研修施設の整備やビオトープを活用した学校の自然学習の受け入れ等にも努め、地域住民の環境保全に対する意識向上に影響を与えている。

講演

講師プロフィール

秋元 智子（あきもと ともこ）氏

- ・2005年から埼玉県地球温暖化防止活動推進センターの事務局長を務め、日々市民へ温暖化対策の啓発、人材育成、情報発信を行う
- ・2006年には、循環型社会形成功労者環境大臣表彰を受賞
- ・2018年7月から2023年3月まで全国地球温暖化防止活動推進センターに指定されている一般社団法人地球温暖化防止全国ネットの専務理事を務める



地球環境を守るために、私たちにできることから始めましょう！

家庭編

1 電気、水、燃料の削減にチャレンジ

- 適正な室温管理に努めます（冷房時28℃、暖房時20℃を目安）。
- 食卓に積極的に県内産・地元産を取り入れます。
- 電気製品の購入に当たっては、環境性能の高い製品を選びます。

2 車からのCO₂排出量削減にチャレンジ

- 公共交通機関や自転車、徒歩での移動を心がけます。
- 週1日は、家族でノーマイカーデーに取り組みます。
- エコドライブを心がけて運転します。
- 車を購入するときは、環境性能の高い車を選びます。
- 宅配の再配達防止を心がけ、1回で受け取るようにします。

3 廃棄物の減量化やリサイクルにチャレンジ

- 買い物はマイバッグ持参で出掛けます。
- 簡易包装のものや詰め替えのできる商品を選びます。
- 環境物品の購入に努めるとともに、廃棄物の発生の抑制、再使用並びに再生利用に努めます。
- 宴会・会食等においては、「30・10（さんまる・いちまる）運動」の呼びかけを行い、食べきりの実践に努めます。

4 川や海的环境保全にチャレンジ

- 流し台のゴミは、こまめに取り除きます。
- 使い古したてんぷら油などは、水に流さず、回収等に協力します。
- 洗剤や石けん、シャンプーは適量を使用します。

5 自然環境の保全にチャレンジ

- キャンプや登山など自然と触れ合う際等には、空き缶などのごみを持ち帰ります。
- 野生生物は採取せず、見て楽しめます。
- 身の回りの動物や植物などの自然観察を行い、将来の環境について考えます。
- 豊かな郷土の環境づくりのため、地域活動やボランティアに取り組みます。

事業所編

1 電気、水、燃料の削減にチャレンジ

- 適正な室温管理に努めます（冷房時28℃、暖房時20℃を目安）。
- 職員に対して省エネを呼びかける張り紙を掲示します。
- 電気使用量や水道使用量の年間削減目標を設定します。
- 環境マネジメントシステム（環境に配慮した事業活動を自主的に進めるための目標を定め、継続的な改善を図る仕組み）の導入に努めます。

2 車からのCO₂排出量削減にチャレンジ

- 公共交通機関や自転車、徒歩での移動を心がけます。
- 週1日は、職員のノーマイカーデー運動に取り組みます。
- エコドライブを心がけて運転します。
- 車を購入するときは、環境性能の高い車を選びます。
- オンライン会議等を積極的に利用し、車の利用を最小限にします。

3 廃棄物の減量化やリサイクルにチャレンジ

- 簡易包装のものや詰め替えのできる商品を選びます。
- コピー用紙の年間削減目標を設定します。
- デジタル化により、ペーパーレスの推進に努めます。
- 環境物品の購入に努めるとともに、廃棄物の発生の抑制、再使用並びに再生利用に努めます。
- 宴会・会食等においては、「30・10（さんまる・いちまる）運動」の呼びかけを行い、食べきりの実践に努めます。

4 カーボン・オフセットにチャレンジ

- どうしても削減できないCO₂排出量については、かごしまエコファンド制度等を活用したカーボン・オフセット（埋め合わせ）に取り組みます。

5 自然環境の保全にチャレンジ

- 緑化や清掃など、自然環境の保全に係るボランティア活動などに取り組みます。
- 事業の展開にあたっては、地域固有種や、生物多様性の保全など、環境への影響について配慮します。